

4冊で4冊!

新刊新書 サミング・アップ

2000年代に入ってから労働問題は若者の雇用を中心に論じられている。しかし新卒一括採用でスキルのない若者を採用してきた日本型雇用システムは、若者にとっては有利ともいえる。かえって年功序列で人件費が高くつく中高年が企業から排出されやすい側面があり、一度排出されてしまったら再就職は厳しい。さらに大企業を中心に企業単位で確立された生活保障システムが、労働者の生活保障は「労働問題」であり、「社会政策」だ、という問題意識を希薄にしてきた。社会環境が激変する中、今、どのような制度設計が必要なのか。労働問題の第一人者が戦後日本の雇用システムと雇用政策の流れを概説。労働問題の本質を解き明かす。

日本の雇用と中高年

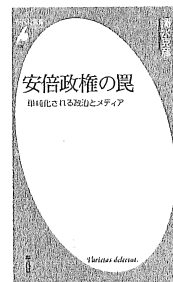
濱口桂一郎著



ちくま新書
780円+税

安倍政権の罭 単純化される政治とメディア

清水克彦著



平凡社新書
780円+税

国の将来を左右する重要課題を単純化してみせる政治姿勢が目立つ安倍政権。官邸主導、アベノミクス、TPP、改憲と国家主義、原発と普天間移設における感情論など七つのテーマについて、問題意識を深めるための視点を提供する。

数の論理で押し通す安倍政権の「独り勝ち」という状況は、マスメディアにも後押しされているという。このリスクの観点からマスメディアの姿勢を取り上げ、その一点集中的な報道はソチオリンピックにも波及し、浅田真央選手に関する報道合戦はその端的な表れと指摘する。

政治に大きな影響力を持つ世論調査も問題ありとして、個人レベルで考えるためのヒントの提示に徹している。

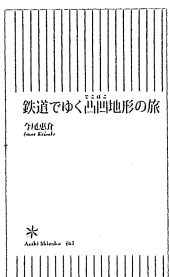
都内・観光地の有名路線を中心に、難しい凸凹地形をどのように電車が走っているのかを徹底的に検証。急勾配やカーブを乗車しながら楽しめるポイントを伝授する。

たとえば峠越えする鉄道は急勾配をどうこなすか。中央本線は勝沼ぶどう郷―石和温泉間で「雨敬回り」をし、上越線清水トンネル前後はループ線が走る。また豊肥本線立野駅には日本最大規模のZ型スイッチバックがあり、日本最急勾配の鉄道スイッチバックは箱根登山鉄道に見られる。さらには、都営地下鉄大江戸線は知られざるジェットコースター・メトロになっているという。

鉄道カーブ名場面50選、東京23区内私鉄沿線地形散歩を併せて掲載。

鉄道でゆく 凸凹地形の旅

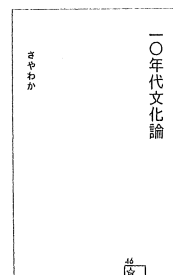
今尾恵介著



朝日新書
780円+税

一〇年代文化論

さやわか著



星海社新書
820円+税

新進の評論家が、2010年代の若者文化、いわゆるオタク文化やサブカルチャーを分析しながら、現代の社会状況をとらえようと試みる。

創作者同士をつなぐハブとしての役割を担って存在するボーカロイド「初音ミク」。驚異的な売り上げを記録するライトノベルの数々。AKB48を代表とした新たなアイドル像。あるいは、08年に起きた秋葉原の通り魔事件など。これらを手掛かりに、変貌する若者像と世代間の断絶をあぶり出していく。

本来ネガティブな意味で使われる「残念」という言葉が、若者たちによってポジティブな意味で使われるという事例を基に、社会から自由であるうともがく現代の若者像を浮かび上がらせる。